

【タイトル】

在コスタリカ大使館からの注意喚起（熱帯性暴風雨警報）

【本文】

21日、国家緊急対策委員会（CNE）は、コスタリカ全土に熱帯性暴風雨警報を発出したので、十分注意してください。

コスタリカにお住まいの皆様及び旅行者の皆様へ

在コスタリカ日本国大使館

11月21日、国家緊急対策委員会（CNE）は、熱帯性低気圧の活発化により暴風雨が発生する恐れがあるとして、コスタリカ全土に大雨暴風警報（黄色警報）を発出しました。気象庁の発表によれば、熱帯性低気圧の中心は、リモン港から北東440キロメートルの場所にあり、本年カリブ海地域で発生した第16番目のハリケーンに相当するものとされています。それは、今後48時間かけて勢力を増しつつ、コスタリカとニカラグアの国境に向けて西に移動していく見通しです。また、今後3時間は、リモン県を中心にカリブ海側では1時間に20ミリから30ミリの大雨が予想されています。

また、中央地域（Valle Central）では最大風速80キロメートル、グアナカステ県など北太平洋側では最大風速70キロメートルの暴風が予想されていますので、最新の情報を入手するとともに、十分注意してください。

以上